

# 目 次

## 特集 学術情報・電子ジャーナルシンポジウム

大学における学術情報資源の整備

電子ジャーナル時代の学術コミュニケーションの変革

開 会：主催者挨拶	金田 章裕（京都大学理事・副学長）	1
基調報告(1) 電子ジャーナルの円滑な導入と安定的な運営の実現に向けての取り組み - 国立大学図書館協会電子ジャーナル・タスクフォースの活動 -	伊藤 義人（名古屋大学附属図書館長）	2
基調報告(2) 学術コミュニケーションの変革に向けて - SPARC, オープンアクセス, 機関リポジトリ -	尾城 孝一（千葉大学附属図書館情報サービス課長）	9
基調報告(3) 国際学術情報流通基盤整備事業の現況	安達 淳（国立情報学研究所教授）	12
パネル討議(第1部) 大学における学術情報資源の整備の進め方 京都大学の場合		
基調報告	大西 有三（工学研究科教授）	16
図書館協議会ができるまで	佐々木 丞平（附属図書館長）	18
電子ジャーナル時代の文献検索	中務 哲郎（文学研究科教授）	20
大学における学術情報基盤：情報分野の立場から	田中 克己（情報学研究科教授）	22
パネル討議(第2部) 学術コミュニケーションの変革への関わり 研究者、学会、出版社		
UniBio Pressの目指すものは何か	永井 裕子（日本動物学会事務局長）	25
いくつかの数学学術誌の電子ジャーナル化への対応	森 重文（数理解析研究所教授）	27
商業出版社からの学術情報発信	深田 良治（エルゼビア・ジャパン代表取締役）	30
シンポジウムに参加して 大きな不安といくつかの期待と	野田 公夫（農学研究科教授）	32
附属図書館利用統計(平成15年度)		34

### 編集後記

今回の特集は、京都大学における電子ジャーナルをはじめとする学術情報基盤を考えるうえで、入門書として位置づけることができます。次に、応用編の一つとして京都大学図書館機構を取り上げます。「図書館は成長し、変化していくものである。（ランガナタン）」  
( 梶川 )